

学 生 便 覧

— 履修と学生生活のてびき —

令和 6 年度入学者用

山形大学理学部

7. 「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得について

第2表の「大学において修得することを必要とする最低単位数」の「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位のうち、必修科目とその最低修得単位数は、第6表のとおりである。下表に基づき、中学校の免許状を取得しようとする場合は31単位（数学、理科共通）以上、高等学校の免許状を取得しようとする場合は27単位（数学、理科共通）以上を修得しなければならない。

第6表

教育の基礎的理解に関する科目等	授業科目	単位数	開講年次	免許状に必要な最低修得単位数	
				中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	2	2	2	2
	教職論	2	2	2	2
	教育社会学	2		2	2
	教育経営学	2	2		
	発達心理学	2		2	2
	学習心理学	2	2		
	特別支援教育総論	2	2	2	2
	教育課程編成論	2	3	2	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	2	3	2	
	総合的な学習の時間論	2	3	2	2
	特別活動論	2	3	2	2
	教育方法・技術 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2	2	2	2
	生徒指導・進路指導	2	3	2	2
	教育相談	2	3	2	2
教育実習	教育実践実習事前・事後指導(中・高)	1	<u>2・3(高)</u> <u>3・4(中)</u>	<u>1</u>	<u>1</u>
	教育実践実習事前・事後指導(中)	1	<u>3・4</u>	<u>1</u>	
	教育実践実習事前・事後指導(高)	1	<u>2・3</u>		<u>1</u>
	教育実践基礎実習(中)	1	3	1	
	教育実践実習B	3	4	3	
	教育実践実習C	2	3		2
教職実践演習	教職実践演習 (中学校・高等学校)	2	4	2	2
大学が独自に設定する科目	サイエンスコミュニケーターA	2	3		

- (注) 1) 開講期は、授業時間割表により確認すること。
- 2) 教育実践実習は、取得しようとする免許の校種により、履修する科目が異なる。
「教育実践実習B」：中学校の免許のみ又は中学校及び高等学校の免許を取得する場合。
「教育実践実習C」：高等学校の免許のみを取得する場合。
- 3) 教育実践実習の実施の詳細は、別に指示する。
- 4) 「教育実践実習事前・事後指導(中・高)」は、必修科目である。高等学校の免許のみを取得する場合は2・3年次に、それ以外の場合は3・4年次に履修すること。
- 5) 卒業要件への算入については、「IV 履修要項」の「2-2 基盤専門教育科目の卒業要件と履修方法」(P9～10)を参照すること。